



Stage Ballet Academy

〒277-0075 千葉県柏市南柏中央 2-4 第2 フジビル 2F Tel/Fax 04-7171-3304

メールアドレス stageballet_mie@trad.ocn.ne.jp ホームページ <http://stageballet.net/>

津守美絵先生のメッセージ

発表会練習も佳境に入ってきました。

入学、卒業、進学など環境が変わる中、一つの目標に向かって頑張っている姿に勇気づけられます。

今年は東京都立総合芸術高等学校新3年生の佐藤亜衣梨さんが、ステージバレエの先輩竹花治樹君と Coppélia 第3幕のパ・ド・ドゥを踊ります。初めての主演としての自覚を持ち周りの後輩たちに目を配り、みんなに支えられて明るく幸せに踊ってくださることを期待しています。



2部は、コンサート集です。ステージバレエの発表会は全幕作品の上演が多いため、小・中学生がソロを踊る機会が少なかったのですが、今年はコンクールなどのため、ヴァリエーションの練習をしている方の成果を披露していただくことにしました。通常のレッスンではヴァリエーションの練習ができませんので、ソロを踊る方は土曜日の特別レッスンを受けています。これから自分もやってみたいという方、ぜひチャレンジしてください。見違えるくらい上手になりますよ！

3部は“ゲート・パリジェンヌ”です。この作品はパリのカフェを舞台にした大人の間人模様を描いた作品です。ステージバレエの個性豊かな方々の演技と、江藤先生の演出、そして若く可愛いカンカンで、観ている方にスカーッと楽しい気分になっていただきたいと思っております。

今回は会場の予約が難しく、20カ所くらいの会場をあたり断念しようかと思う時期もありました。初めての場所で不慣れと思いますが、力を合わせて思い出深い発表会にしていきたいと思っております。



1、2、3月もいろいろな事がありました。

2月11日UESバレエ団の公演“くるみ割り人形”で江藤先生がオーケストラの指揮をしました。このバレエ団の演出家の先生は、プロジェクションマッピングや最新の音響を使い、お客様を楽しませる演出をいつも考えています。その都度チャイコフスキーは崩したくないと思っている江藤先生といろいろありますが、とても楽しい公演となっていますので、ぜひ次回も見に来てください（来年1月ジゼルの予定です）。

27日は東京バレエ団のレジェンズ・ガラ。今回は近代バレエ界のレジェンズであるベジャール、ノイマイヤー、キリアンの作品のガラ公演です。治樹、キースはベジャールの春の祭典に出演。この作品はストラビンスキーの難解なリズムと原始時代を思わせるような振付、衣装も男女ともに全裸のような総タイツです。昨年のイタリアツアーでも絶賛された東京バレエ団の素晴らしいレパートリーです。私はイタリアへは観に行けなかったけど今回観ることが出来て感動しました。

3月8日は東京文化会館での日本バレエ協会の“エスメラルダ”を観に行きました。2022年も日本バレエ協会で行ったのですが、この年はコロナの影響でリモートで振付をし、オーケストラもなく録音上演でした。そこで今回はロシアから振付家も招待し、オーケストラ、コーラスも入り万全で上演しました。残念ながら今年はステージバレエからの出演はありませんでしたが、江藤先生がプロデュースチームに入りリハーサルピアノも務めており、いつもこの時期かかりきりの作品で素晴らしいものとなりました。

3月20日～22日は東京バレエ団「上野水香オンステージ公演」で、治樹、キースは水香さんの周りでポレロを踊っていました。地方公演もあり忙しくしています。来年5月にはパリ・オペラ座公演なども予定されておりメンバーに選ばれるよう頑張りたいと思っています。

そして今原稿を書いている3月末、いろいろなコンクールに挑戦しています。

3月27日全国八王子コンクールに4年生の直生君がくるみ割り人形の王子、5年生の美鳳さんがキューピッド、由依さんがパキータのヴァリエーションで出演しました。

28日には全国舞踊コンクールに中学2年生の七海さんがサタネラのヴァリエーション

4月1日のFLAPコンクールに5年生の瑞季さんがキューピッド茅史さんがフロリナ姫のヴァリエーションで出場します。初めてコンクールに出場し一人で踊る緊張と戦うこと、入賞を目指して頑張る人これまで練習してきた成果が出ると思います。



江藤勝己先生のメッセージ

春になったのに、今年は我が家の桃の花がほとんど咲かず、隣の赤い木蓮も蕾もありません。なんでだろう。

1月から始まったバレエ協会公演「エスメラルダ」のリハーサルは、今回はオーケストラによる上演だったので、全てリハはピアノでした。去年のバヤデルを弾いていたとき、終演翌日から首、肩と手が激痛で動かなくなり4ヶ月くらい苦しんだ経験があるので、今回は常にストレッチをしながら弾いていました。そのおかげか、通常の腱鞘炎の痛みはあるものの、乗り越えることができました。振り付け指導に来日したアンソニーさんはまだ23歳の現役ダンサー。空港に迎えに行き、車に乗せた時に最初に彼が言

ったのは「レッスン出来るところない？」でした。本当にバレエが好きなので、趣味はないの？って聞くと「バレエ」。休みの時はレッスンに行くか部屋で自主トレをしていました。あまりに可哀想だからどこかに連れて行こうとしても、「外出は好きじゃない」と。でも、最後、空港に送って行った時は来た時よりもスーツケースが一個多い。聞いたらドンキホーテで買い物していたそう。なんだ、結構普通じゃん。って笑ってしまった。この作品はジゼルと同じくらい古い作品で、作曲はプーニ。彼の音楽はミンクスよりもダサイイメージがあったのだけど、今回、オーケストラになった時に、あまりに近代的なオーケストレーション。僕は本番は2幕のヴァリエーションのチェレスタを弾いていたのですが、この時代はまだ発明されてなかったはず。（チェレスタはチャイコフスキーがくるみ割り人形で使ったのが世界初です）とてもかっこいいオーケストレーションなのでおかしいなあと調べてたら20世紀のグリエールというバレエ作曲家がアレンジしたそうです。でなきゃあんな素晴らしい合唱曲もあるはずがない。合唱をバレエに最初に使ったのはくるみ割り人形ですから。振り付けもダイアナとアクテオンのダンサーが、コーダでファイブフォーティ（男性が好むアクロバットなパ）をやったり、女子がフェテをしたら、アンソニーが「その時代にはまだ生まれてないパなのでやってはいけない」とのことでした。バレエもこのように時代によっていろいろ変化していくんですね。面白い。

さて、発表会ももうすぐです。「ゲート・パリジェンヌ」は僕の師匠がよく作っていた作品で、僕はそれを受け継ぎました。僕自身もギャルソンをずっとやっていて、短いけどとても面白い作品です。コテコテのクラシックバレエではない、バレエをお楽しみください。



水上千里先生のメッセージ

みなさん、こんにちは。葛飾・足立教室の発表会まであと少しですね！

今回、私はゲート・パリジェンヌでカフェのマダムになります。今まで3回、カンカンダンサーで公演に出演しましたが、それぞれのマダムや勝己先生のマダム（みなさん、男性でした）の印象が強烈に残っています。セリフがきちんと伝わるように演じたいと思います。

合同練習は大変ですが、全員で踊るラインダンスはとても楽しいですね！

第2部バレエコンサートには金曜朝のフリークラスから参加します。初めての発表会の方もいますが、みなさん、どうぞよろしくお祈りします。

怪我や体調不良無く本番を迎えられますように。練習頑張りましょう！！

谷村和子さんのメッセージ

花の綺麗な季節になりましたので散歩を始めました。枝一杯に鮮やかに咲き誇るしだれ桜や、梅の香りを楽しんでいます。道行く人も余りの綺麗さに足を止めています。家の小さな庭にも黄色いスイセンが咲き始めました。

先月、季節外れですが“雪を見たい”と言う、家族の希望で那須に行ってきました。山々には雪が積っていましたが、道路には雪はなく家族には残念な旅でした。温泉神社（ゆぜんじんじゃ）にお参りし、殺生岩（鳥羽上皇を殺そうとした九尾の狐の化石とされる巨大な岩の伝説）を見て来ました。泊まったホテルの美術館では、色々な世界の

岩石が展示されており、東郷青児画伯の夢見るような女性達の絵と、大坂万博の“太陽の塔”を造られた岡本太郎さんの絵が壁一面に飾ってありました。不動明王等仏像を彫られた澤田政廣さんの漁師の女性の大きな像がありました。葛飾・足立教室の発表会「 Coppelia 第3幕・ゲート・パリジェンヌ」のレッスンは、夜遅くまで続いています。舞台での踊りと華やかな衣装を楽しみに、私は贅沢にも観客となり夢を膨らましています。しっかり練習して発表会の舞台の上で、素晴らしい夢を咲かせて下さい！皆様の幸せいっぱいの笑顔を楽しみにしています！

勝尾好正さんのメッセージ (ヨガ受講者)

東日本大震災と良寛の災害見舞の言葉

3月11日が近づくと、あの大震災から15年という月日の重さをあらためて感じます。そんな折、文政11年(1828年)に起きた三條地震の直後、良寛が家族を失った親友に宛てた手紙の言葉を思い出します。そこには、「災難に逢う時節には災難に逢うがよく候」「死ぬ時節には死ぬがよく候」と記されていました。

一見すると冷たく聞こえるかもしれませんが、80代になった今の私には、この言葉がとても深く響きます。読者の皆さまの多くは私よりお若いでしょうから、少し身勝手に感じられるかもしれませんね。

良寛は当時71歳で、病弱でした。それでも当時としては長寿です。だからこそ、「災難が来る時には避けようのないものとして受け入れる」「死ぬべき時が来たら、その流れに身を任せる」という、達観した心境を語ったのだと思います。もちろん、災難を求めて行くわけでも、使命のために命を投げ出すという意味でもありません。ただ、自然の流れに逆らわず生きるという姿勢です。

同年代の友人にこの話をすると、「私もこの世に未練はないし、流れに身を任せる気持ちだよ」と言っていました。15年前の震災で助かった方の中には、亡くなった方を思い続け、今も心の痛みを抱えている方もおられます。それでも、自分の命もまた自然の摂理の中にあるものとして、どうか穏やかに、与えられた人生を歩んでいただきたいと願います。

ヨガの最終的な目的はサマーディ(三昧)に至ることだと言われます。良寛の言葉には、その境地と通じるものがあるように、私は感じています。

		4 月	5 月	6 月
北柏教室	月曜日	6日・13日・20日・27日	11日・18日・25日	1日・8日・15日・22日
足立教室	火曜日	7日・14日・21日・28日	19日・26日	2日・9日・16日・23日・30日
葛飾教室	水曜日	8日・15日・22日	13日・20日・27日	3日・10日・17日・24日
神愛教室	金曜日	17日・24日	15日・22日・29日	12日・19日・26日
南柏スタジオ	月曜日	6日・13日・20日・27日	11日・18日・25日	1日・8日・15日・22日
	火曜日	7日・14日・21日・28日	12日・19日・26日	2日・9日・16日・23日
	水曜日	1日・8日・15日・22日	13日・20日・27日	3日・10日・17日・24日
	木曜日	2日・9日・16日・23日・30日	7日・14日・21日・28日	4日・11日・18日・25日
	金曜日	3日・10日・17日・24日	1日・8日・15日・22日	5日・12日・19日・26日
	土曜日	4日・11日・18日・25日	2日・16日・23日・30日	6日・13日・20日・27日
ヨガレッスン	水曜日	1日・15日・22日	13日・20日・27日	3日・10日・24日